

科目名	保育内容研究 (こどもの言葉)	教員名	ほさか かずたか 保坂 和貴	開 講	保育科	2年次	前 期
<p>・目的と内容</p> <p>人間にとって、ことばを身につけることはとても重要なことです。なぜなら人は、ことばをとおして気持ちを伝え合ったり、自分を表現することが多いからです。文字を読むことができるようになれば、現実には存在しない想像上の世界へ本を通じて行くこともできるでしょう。しかし人は一度ことばを身につけると、それを当たり前のもものとして使うようになり、ことばの役割を忘れてしまいがちです。</p> <p>講義では、様々な言葉の獲得過程を整理し、日々の生活のなかでこどもの文化的世界がどのように創られていくのか、そして保育の場でことばを中心とする表現の発達を支援するにはどのような方法が相応しいか考えます。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：1 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. こどもの文化とは 2. ビデオ鑑賞 3. ことばの獲得過程 : 乳児期～新生児期 4. ことばの獲得過程 : 学童期以降 5. ことばの獲得過程 : ことばの発達をとらえる視点 6. ことばのはたらき : 思いを伝えあう 7. ことばのはたらき : 自分を表現する 8. ことばのはたらき : 「いま・ここ」を超えて世界とつながる 9. グループ・ワーク : 紙芝居を作ろう(1) 10. : 紙芝居を作ろう(2) 11. : 紙芝居を作ろう(3) 12. ことばのはたらき : 遊びのなかで育つことば 13. ことばのはたらき : からだとことば 14. まとめ 15. 試験 							
<p>・講義の進め方</p> <p>講義は基本的にパワーポイントを使用しておこなう。内容によってはグループ・ディスカッションやグループワークもおこなう。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>平常点と学期末試験により、総合的に評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>ことばを話すようになる前の自分を想像しながら、ことばを身につけることによって世界の見え方がどんな風に変っていくのかを考える時間にしてほしいです。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：使用しない。 参考書：講義の中で適宜紹介する。</p>							